第1回福知山数理・データサイエンス研究会 実施報告

福知山公立大学 数理・データサイエンスセンター 成松明廣

概要

2023年8月17日および18日、市民交流プラザふくちやま3階にて、「第1回福知山数理・データサイエンス研究会」を実施した。本稿では、その報告を行う。

「福知山数理・データサイエンス研究会」は、データサイエンスに関連する様々な分野を横断した研究交流を行うほか、学生の研究発表の場となる会として企画・開催された。

研究会内容

研究会のテーマは特任研究員の専門に合わせて「量子情報とそれに関連する数理」としたが、ポスター発表の分野は限定せず、情報学、データサイエンスおよびその数理に関連する様々な発表が行われた。

特別講演について、今野紀雄先生（横浜国立大学名誉教授）、谷田純先生（大阪大学大学院教授）、佐藤巖先生（小山工業高等専門学校名誉教授）にご講演いただいた。それぞれの先生方の専門分野における研究の内容を、90分間お話しいただくとともに、長く第一線で活躍された研究活動のご経験を通じた、学生に対する貴重なメッセージもいただき、研究、教育の両面で大変意義深い特別講演となった。

ポスターセッションについて、初回かつ厳しい日程であったにも関わらず、本学の3研究室の学生から合計9件、それ以外から3件が集まった。優秀発表賞は藤井琉成さんによる「愛着のあるキャラクタに注目した自然な販促支援を目的とする食品ラリーコンテンツの提案」であり、デモンストレーションを交えた抜群のプレゼンテーションで研究の興味深さを伝えており、採点者内でも満場一致の結果であった。ただし、他の発表についても研究内容は興味深いものが多く、次回以降は大学院の学生が参加することによって、さらに盛り上がりを増すであろうことが期待出来る盛り上がりを見せていた。

講演タイトル等は、[開催報告ページ](#)参照。

課題点

開催時期について、準備期間が期末試験と重なったほか、日時もお盆直後であり、帰省等の都合で参加できなかった学生もあったため、日程については検討が必要である。

また、ポスターセッションは1時間では時間が足りず、次回はより長い時間を充てられるようにプログラムが調整されることが望ましい。